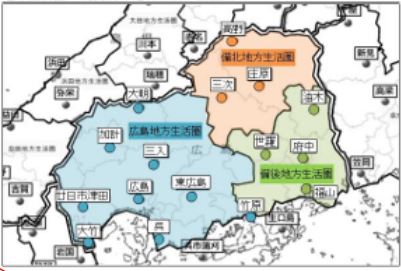


改定前（令和7年8月）	改定後（令和8年6月一部改定）	摘 要																																								
<p>土木工事標準積算基準書（参考資料編） X-7</p> <p>2) 工期・供用日数算定について</p> <p>○適性な工期の設定</p> <p>工期については、工事の性格、地域の実情、自然条件、建設労働者の休日等による不稼働日等を踏まえ、特に以下に留意のうえ、工事施工に必要な日数を確保するなど適切に設定すること。</p> <p>(1) 同工種の過去の類似実績を参考に、必要な日数を見込むこと。</p> <p>(2) 降雪期については、作業不能日が多いなど工事に要する期間が通常より長期になることから、必要な日数を見込むこと。</p> <p>(3) 年度末にかかる工事を変更する際には、年度内完了に固執することなく、必要な日数を見込むこと。</p> <p>1. 工期の設定</p> <p>工期の設定にあたっては、次によるものとする。</p> <p>ただし、出水期等の特別な水文気象上の制約及びその他特別な理由により、下記により難しい場合は、別途考慮すること。</p> <table border="1" data-bbox="235 592 891 671"> <tr> <td>準備</td> <td>純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数</td> <td>後片付け</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）</td> </tr> </table> <p>不稼働日数＝雨天日数＋その他（出水期、現場状況（地形的な特性、地元関係者や関係機関との協議状況、関連工事等の進捗状況等））</p> <p>※雨天日数：施工に必要な実日数×雨休率（α）</p> <p>※雨休率：休日（土日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇）と降雨降雪日及び猛暑日日数の年間の発生率。降雨降雪日は、1日の降雨・降雪量が10mm以上/日の日。</p> <p>猛暑日日数は、年ごとのWBG値31以上の時間（注1）を日数換算し、平均した値とする。</p> <p>（注1）WBG値31以上の時間の集計は、過去5年間の平日8時～17時を対象とする。</p> <p>施工に必要な実日数に対する雨休率（α）等（工期設定用＝4週8休）</p> <table border="1" data-bbox="235 868 488 1046"> <tr> <td>雨休率</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>降雨降雪日数 [日/年]</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>猛暑日日数 [日/年]</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>観測所・地点名称</td> <td>広島</td> </tr> </table> <p>※夏季休暇（R7.8.13～8.15） ※年末年始休暇（R7.12.29～R8.1.3）</p> <p>なお、雨天、土曜、日曜、祝日、夏季休暇、年末・年始休暇及び恒例の休日等に降る雨の降雨率及び猛暑日日数は考慮してある。</p> <p>また、橋梁上部製作（工場製作）は上表を適用せず恒例の休日による作業不可能日数を考慮し設定する。</p> <p>降雨降雪日、猛暑日日数は、過去5か年の気象庁及び環境省のデータより算出するものとする。</p>	準備	純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数	後片付け	総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）			雨休率	0.7	降雨降雪日数 [日/年]	31	猛暑日日数 [日/年]	0	観測所・地点名称	広島	<p>土木工事標準積算基準書（参考資料編） X-7</p> <p>2) 工期・供用日数算定について</p> <p>○適性な工期の設定</p> <p>工期については、工事の性格、地域の実情、自然条件、建設労働者の休日等による不稼働日等を踏まえ、特に以下に留意のうえ、工事施工に必要な日数を確保するなど適切に設定すること。</p> <p>(1) 同工種の過去の類似実績を参考に、必要な日数を見込むこと。</p> <p>(2) 降雪期については、作業不能日が多いなど工事に要する期間が通常より長期になることから、必要な日数を見込むこと。</p> <p>(3) 年度末にかかる工事を変更する際には、年度内完了に固執することなく、必要な日数を見込むこと。</p> <p>1. 工期の設定</p> <p>工期の設定にあたっては、次によるものとする。</p> <p>ただし、出水期等の特別な水文気象上の制約及びその他特別な理由により、下記により難しい場合は、別途考慮すること。</p> <table border="1" data-bbox="1104 560 1711 635"> <tr> <td>準備</td> <td>純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数</td> <td>後片付け</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）</td> </tr> </table> <p>不稼働日数＝雨天日数＋その他（出水期、現場状況（地形的な特性、地元関係者や関係機関との協議状況、関連工事等の進捗状況等））</p> <p>※雨天日数：施工に必要な実日数×雨休率（α）</p> <p>※雨休率：休日（土日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇）と降雨降雪日及び猛暑日日数の年間の発生率。降雨降雪日は、1日の降雨・降雪量が10mm以上/日の日。</p> <p>猛暑日日数は、年ごとのWBG値31以上の時間（注1）を日数換算し、平均した値とする。</p> <p>（注1）WBG値31以上の時間の集計は、過去5年間の平日8時～17時を対象とする。</p> <p>施工に必要な実日数に対する雨休率（α）等（工期設定用＝4週8休）</p> <table border="1" data-bbox="1104 815 1711 943"> <thead> <tr> <th>地方生活圏</th> <th>雨休率（α）</th> <th>降雨降雪日 （単位：日/年）</th> <th>猛暑日日数 （単位：日/年）</th> <th>観測所・地点名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備北地方</td> <td>0.79</td> <td>33</td> <td>5</td> <td>高野、三次、庄原</td> </tr> <tr> <td>備後地方</td> <td>0.75</td> <td>27</td> <td>6</td> <td>世羅、府中、福山、油木</td> </tr> <tr> <td>広島地方</td> <td>0.78</td> <td>31</td> <td>5</td> <td>広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田</td> </tr> </tbody> </table> <p>※夏季休暇（R8.8.13～8.15） ※年末年始休暇（R8.12.29～R9.1.3）</p> <p>地方生活圏 観測所・地点名所 位置図</p>  <p>なお、雨天、土曜、日曜、祝日、夏季休暇、年末・年始休暇及び恒例の休日等に降る雨の降雨率及び猛暑日日数は考慮してある。また、橋梁上部製作（工場製作）は上表を適用せず恒例の休日による作業不可能日数を考慮し設定する。降雨降雪日、猛暑日日数は、過去5か年の気象庁及び環境省のデータより算出するものとする。</p>	準備	純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数	後片付け	総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）			地方生活圏	雨休率（α）	降雨降雪日 （単位：日/年）	猛暑日日数 （単位：日/年）	観測所・地点名称	備北地方	0.79	33	5	高野、三次、庄原	備後地方	0.75	27	6	世羅、府中、福山、油木	広島地方	0.78	31	5	広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田	<p>「建設工事の工期算定について（令和8年5月18日技術企画課通知）」に伴う</p>
準備	純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数	後片付け																																								
総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）																																										
雨休率	0.7																																									
降雨降雪日数 [日/年]	31																																									
猛暑日日数 [日/年]	0																																									
観測所・地点名称	広島																																									
準備	純工期＝施工に必要な実日数＋不稼働日数	後片付け																																								
総工期＝準備期間＋純工期＋後片付け期間＋（その他）																																										
地方生活圏	雨休率（α）	降雨降雪日 （単位：日/年）	猛暑日日数 （単位：日/年）	観測所・地点名称																																						
備北地方	0.79	33	5	高野、三次、庄原																																						
備後地方	0.75	27	6	世羅、府中、福山、油木																																						
広島地方	0.78	31	5	広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田																																						

# 土木工事標準積算基準書（参考資料編）（令和8年6月）の一部改定について

別添

改定前（令和7年8月）	改定後（令和8年6月一部改定）	摘要																																
<p>土木工事標準積算基準書（参考資料編） X-10</p> <p>2. 施工に必要な実日数の算定</p> <p>施工に必要な実日数の算定にあたっては、各作業毎の工事数量を、基準書「第I編 第12章1)作業日当標準作業量」及び「第I編 第12章2)市場単価の1日当り標準施工量」に記載されている作業日当り標準作業量で除し、延べ日数を算出。施工順序やパーティ数も考慮して算出する。なお、設定パーティ数は、1班を基本とする。なお、通年行うべき保守（維持）工事等は除く。</p> <p>3. 供用日当たりで計上する仮設材賃料・器材損料及び建設機械賃料等の積算</p> <p>供用日当たりで計上する仮設材賃料・器材損料及び建設機械賃料等の積算にあたっては、下記によるものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <math display="block">\text{供用日数} = \text{施工に必要な実日数} + \text{不稼働日数}</math> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>施工に必要な実日数に対する雨休率（<math>\alpha</math>）等（供用日数算定用＝4週8休）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>雨休率</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>降雨降雪日数 [日/年]</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>猛暑日数 [日/年]</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>観測所・地点名称</td> <td>広島</td> </tr> </table> </div> <p>ただし、下水道工事で雨天を考慮しない、シールド・推進工事等は次による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>雨休率</td> <td>0.5</td> </tr> </table> </div>	雨休率	0.7	降雨降雪日数 [日/年]	31	猛暑日数 [日/年]	0	観測所・地点名称	広島	雨休率	0.5	<p>土木工事標準積算基準書（参考資料編） X-10</p> <p>2. 施工に必要な実日数の算定</p> <p>施工に必要な実日数の算定にあたっては、各作業毎の工事数量を、基準書「第I編 第12章1)作業日当標準作業量」及び「第I編 第12章2)市場単価の1日当り標準施工量」に記載されている作業日当り標準作業量で除し、延べ日数を算出。施工順序やパーティ数も考慮して算出する。なお、設定パーティ数は、1班を基本とする。なお、通年行うべき保守（維持）工事等は除く。</p> <p>3. 供用日当たりで計上する仮設材賃料・器材損料及び建設機械賃料等の積算</p> <p>供用日当たりで計上する仮設材賃料・器材損料及び建設機械賃料等の積算にあたっては、下記によるものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <math display="block">\text{供用日数} = \text{施工に必要な実日数} + \text{不稼働日数}</math> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>施工に必要な実日数に対する雨休率（<math>\alpha</math>）等（供用日数算定用＝4週8休）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地方生活圏</th> <th>雨休率（<math>\alpha</math>）</th> <th>降雨降雪日 (単位：日/年)</th> <th>猛暑日数 (単位：日/年)</th> <th>観測所・地点名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備北地方</td> <td>0.79</td> <td>33</td> <td>5</td> <td>高野、三次、庄原</td> </tr> <tr> <td>備後地方</td> <td>0.75</td> <td>27</td> <td>6</td> <td>世羅、府中、福山、油木</td> </tr> <tr> <td>広島地方</td> <td>0.78</td> <td>31</td> <td>5</td> <td>広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>ただし、下水道工事で雨天を考慮しない、シールド・推進工事等は次による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>雨休率</td> <td>0.5</td> </tr> </table> </div>	地方生活圏	雨休率（ $\alpha$ ）	降雨降雪日 (単位：日/年)	猛暑日数 (単位：日/年)	観測所・地点名称	備北地方	0.79	33	5	高野、三次、庄原	備後地方	0.75	27	6	世羅、府中、福山、油木	広島地方	0.78	31	5	広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田	雨休率	0.5	<p>「建設工事の工期算定について（令和8年5月18日技術企画課通知）」に伴う</p>
雨休率	0.7																																	
降雨降雪日数 [日/年]	31																																	
猛暑日数 [日/年]	0																																	
観測所・地点名称	広島																																	
雨休率	0.5																																	
地方生活圏	雨休率（ $\alpha$ ）	降雨降雪日 (単位：日/年)	猛暑日数 (単位：日/年)	観測所・地点名称																														
備北地方	0.79	33	5	高野、三次、庄原																														
備後地方	0.75	27	6	世羅、府中、福山、油木																														
広島地方	0.78	31	5	広島、加計、呉、三入、大竹、大朝、竹原、東広島、廿日市津田																														
雨休率	0.5																																	